



令和7年度

学校経営計画

八王子市立由木中央小学校

校長 松山 大作

学校教育目標

◎すすんで学習しよう（重点） ○あったかい心をもとう ○じょうぶな体をつくろう

【目指す学校像】

- 児童の可能性を引き出す学校
- 児童が生き生きと活動する学校
- 保護者、地域と共に歩む学校

【目指す児童像】

- 自ら考え、進んで行動する児童
- 人権・規範意識の高い児童
- 快活で、心身共に健康な児童

【目指す教師像】

- 児童の成長を考える教師
- 高い専門性を有する教師
- 学校運営に参画する教師



輝く瞳 豊かな心 笑顔あふれる学校



今年度の取組項目と方策

① 確かな学力【重点項目】

1) 授業改善

- ・「個別最適・協働的な学び」を実現する授業の展開
- ・全学年による研究授業の実施
- ・言語活動と言語環境の充実
- ・問題解決的な学習の展開
- ・一人一台の学習用端末の活用

2) 基礎・基本の徹底、定着

- ・「はちおうじっ子ミナモト」の活用
- ・週2回の朝学習「算数タイム」を活用した基礎学力の向上

3) 教科担任制の実施

- ・質の高い習熟した授業の展開
- ・学年の教員全員で児童を育成

② 健康・体力

1) 基本的生活習慣の定着

- ・早寝、早起き、朝ご飯
- ・「生活リズム表」の活用

2) 体力・運動意欲の向上

- ・体育授業の充実（運動量の確保）
- ・運動の日常化（外遊びの奨励）
- ・月1回以上の「学級遊び」の実施
- ・「縄跳び週間」や「持久走週間」等の体育的活動の充実
- ・体力テストの分析と活用

3) 健康指導の充実

- ・保健学習（体育科で実施）
- ・保健指導（養護教諭による指導）
- ・栄養指導（栄養士による指導）

③ 人権・道徳教育の推進

1) あいさつ・言葉づかい

- ・元気な挨拶と丁寧な言葉づかい

2) 人権教育の推進

- ・「弁護士による人権授業」の実施
- ・助産婦による「命の授業」の実施
- ・「命の日」を設定して指導を徹底

3) 特別の教科道徳

- ・考え、議論する道徳授業の展開
- ・「親切、思いやり」「生命の尊さ」を重点とした道徳授業の実践

4) 道徳授業地区公開講座

- ・保護者、地域との連携強化

5) 情報モラル教育

- ・由木中学校と連携した情報活用能力の系統的な育成
- ・SNSに関する授業の実施

④ 特別支援教育

1) 個々の特性への理解

- ・「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の活用

2) 校内委員会の充実

- ・特別支援教室巡回指導教員を含めた組織的な校内体制を構築
- ・不登校児童への支援の充実

3) 関係機関との連携

- ・保護者、担任、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーとの連携及び相談の充実
- ・都立桜の丘学園との副籍交流

⑤ 特色ある教育

1) 小中一貫教育（由木中グループ）

- ・由木中と由木東小とのオンライン交流
- ・生活指導「あじみこし」の実践
- ・「八王子っ子サミット」での交流
- ・運動会での「由木音頭」「係活動」での交流

2) 保護者・地域との連携

- ・PTAによる「読み聞かせ」
- ・秋まつり、味噌作り等の実施

3) 郷土・総合学習（由木村めぐり）

- ・地域人材や地域伝統文化の活用
- ・郷土八王子を愛する心情の育成

⑥ 生活指導

1) 基本的生活習慣の確立

- ・「生活のきまり」の見直し・徹底

2) いじめ・体罰の撲滅

- ・年3回「いじめ防止授業」実施
- ・「いじめ認知のための支援タイム」と「学校いじめ対策委員会」による組織的対応
- ・校長講話、SOSの出し方の授業等による、生命尊重の心情の醸成
- ・いじめ、体罰防止研修の実施

3) 校内外での安全教育

- ・年間11回の避難訓練の実施
- ・教職員による安全点検の実施

⑦ 特別活動

1) 異年齢交流活動

- ・「由木っ子タイム」「由木保育園・由木中学校との交流会」の実施

2) 学校行事・集団宿泊行事

- ・集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。

3) 委員会・クラブ活動

- ・役割をとおり、主体性や責任感、所属意識を高める。

⑧ 家庭・地域

1) 情報発信の充実

- ・学校ホームページの更新、充実
- ・不審者情報等のメール配信

2) 家庭との連携

- ・付加価値の高い保護者会の実施
- ・家庭やPTAとの連携充実
- ・家庭と連携した情報モラル教育

3) 地域との連携

- ・中学部活動体験や地域清掃活動

⑨ 学校運営

1) 組織的体制の構築

- ・教職員一丸となった教育活動

2) 開かれた学校

- ・学校公開、保護者会の実施
- ・地域運営学校（コミュニティスクール）
- ・学校評価アンケートの実施、公表

3) 働き方改革推進

- ・校務を見直し、児童と関わる時間を確保（校務の精選等）